

TOPPOS

TOKIWA POST

VOL. 35
AUTUMN

常磐大学
大学院 国際学部
人間科学部 コミュニティ振興学部
常磐短期大学

常磐大学高等学校
常磐短期大学 附属幼稚園

[2004.9.30]

発行 / 学校法人 常磐学園 編集 / 学園報編集室 水戸市見和1丁目430-1 電話 029(232)0007 http://www.tokiwa.ac.jp/

カリフォルニア州立大学ノースリッジ校とフレズノ校から男女合わせて計6名の交換留学生が到着し「交換留学生歓迎ティーパーティー」が開催された。今後、4カ月半滞在する留学生たちはキャンパスの国際化に大きく貢献することになる。



写真前列右から、大堀哲学長、アナ・ストラッサー、ベス・アンダーウッド。写真後列右から、レオン・ペレイラ、リチャード・ハーディング、エリソン・ウィークス、ジョエル・マンキー、川島淳一国際センター長。

Welcome to Tokiwa University! キャンパスに吹く 爽やかな国際化の風。

常磐交換留学制度 / 第1回受け入れ開始



多くの参加者を集めた茜梅寮・ダイニングホール白薔。

本 学と教育交流の提携を結んだアメリカのカリフォルニア州立大学ノースリッジ校とフレズノ校から計6名の交換留学生が到着し、九月十六日、常磐大学茜梅寮・ダイニングホール白薔で「交換留学生歓迎ティーパーティー」が開催された。

この「常磐交換留学制度」は、昨年の秋に常磐大学創立二十周年記念事業の一環として設立されたもので、今回が第一回目の受け入れ。留学生たちは秋 semester の四カ月半、日本語及び日本文化の学習のため本学で学ぶことになる。全員が本学の国際交流会館に滞在することになり、男子学生四名には一名、女子学生二名には二名の本学学生がルームメイトとなり生活をともにし、日本での生活支援を行う予定だ。

また、今回はワークスタディーアプローチを取り入れ、本学で働くことにより留学生たちが経済的な援助を受けられるシステムを構築。本学で行われる英語の授業をサポートする「ティーチングアシスタント」や、日本人学生たちの英会話の相手をする「カンパセーションパートナー」として働きながら、本学の国際化に貢献することになる。

交 換留学生歓迎ティーパーティーでは、大堀哲学長が英語で歓迎の挨拶を行った後、川島淳一国際センター長（国際学部・教授）が交換留学生を一人ひとり紹介。自己紹介では流暢な日本語を話す学生もあり、レベルの高さを感じさせた。

交換留学生のひとりアナ・ストラッサーさんは「皆さんに温かく歓迎していただき、とても感謝しています。この四カ月半で、日本語はもちろん日本の伝統音楽についても学びたいと思っています。皆さんどうぞよろしくお願ひします」と抱負を語った。

交換留学生紹介
リチャード・ハーディング
(ノースリッジ) 日本語と歴史からの異文化理解に関心がある。
ジョエル・マンキー
(ノースリッジ) 日本の伝統音楽や作曲に興味がある。太鼓クラブ部長。
レオン・ペレイラ
(フレズノ) 日本語、日本文化に関心があり、将来、日本で英語を教えたい。
アナ・ストラッサー
(ノースリッジ) 映画や音楽の分野で日本語の通訳として働きたい。
ベス・アンダーウッド
(フレズノ) 国際ビジネスに関心があり、国際的な企業で働きたい。
エリソン・ウィークス
(ノースリッジ) 日本での就職を希望している。日本人学生のチューター。



すぐに打ち解け合う学生たち。

◎シリーズ35 ツリガネニンジン

秋風に揺れる、淡青色のかわいらしい花。

夏の若芽は「トトキ」と呼ばれ、山菜としても親しまれています。主にお浸しやお味噌汁の具に用いられ、山でうまいはオケラにトトキ、嫁に食わすもおしゆこざる」と唄われたそうです。

いつ終わるとも知れない猛暑に、連日苦しめられた今年の夏。しかし、朝夕の風が涼しくなり、本学園内のツリガネニンジンも花を咲かせました。季節は確実に移ろっています。

夏から秋にかけて、淡青色のかわいらしい花を咲かせるツリガネニンジン。鈴なりになった花が風に揺れている様子はいかにも涼し気で、秋が近づいたことを感じさせます。

名前の由来は、花の形が釣鐘型で、白く太い根が朝鮮人参に似ていること。葉は楕円形でふちに鋸歯があり、通常は三〜五枚が輪生します。しかし、株によって対生や互生五輪生以上の異なる変種があるため、見分けるポイントには使えません。この仲間では最も一般的なもので、平地や林で見かけたらツリガネニンジンである可能性が高いでしょう。

草丈は、五〇センチから一米トールくらいになり、北海道から九州までの広い範囲に分布しています。



常磐の四季

Seminar Report

小川ゼミ

茨城エリアで ブロードバンドの普及を!

●東日本電信電話株式会社プロジェクト

NTT東日本の固定電話回線(フレッツ、ADSL、Bフレッツ)利用促進を図るプロジェクトが小川ゼミでスタートし、七月二十三日、NTT東日本茨城支店でプロジェクトの結果報告が行われた。小川ゼミは、毎年セメスタ前に企業から課題をいただき、グループ対抗で企業に提案を行っている。つまり、社会に出てから役立つ、極めて実践的な活動が行えるゼミだ。今回のプロジェクトも、マーケティングからプロモーション企画の立案、そしてイベント実施までを行う本格的なもの。NTT東日本茨城支店の全面的な協力のもと、無事プロジェクトの全行程を終了し、報告会に書き上げた。

当日は、愛犬の写真をネット上に掲載して人気投票を行う「愛犬自慢」や、子供のお弁当をネット上に公開することで、幼稚園児を持つ母親にもインターネットの楽しさを知ってもらおうイベントなどの結果を報告。「顧客を誘引する方法が斬新で、強いインパクトを受けました。提案していただいた企画を検討し、今後の展開の参考にしたいと思います」と、NTT東日本の方から総評をいただいた。ゼミ生からのメッセージ

長谷川 佑介・国際学部国際ビジネス学科三年。「他の班の報告を聞いて、自分たちもこうすれば良かったと反省点が出てきました。本当に最後まで勉強になるプロジェクトでした。イベント実施の際は、ターゲットの興味を引き付けることに苦労しました。参加者を募る広告ツールも、ただ配っただけでは見てくれません。座学だけでは分からない、マーケティングの難しさを実感することができました」

岡田 沙耶香・国際学部国際協力学科三年。「毎晩、夜の十一時頃まで大



報告の順番を待つ学生たち。他の班を意識しながらも緊張の色は隠せない。NTT東日本茨城支店の方々やゼミ生たち、五十人を超える聴衆の前で報告会が行われた。



学に残ってプロジェクトに取り組んできたので、これで終わりかと思うと少し寂しいですね。今日の反省点は、考えていたことの半分ぐらいしか説明できなかったこと。もっとしっかり話の内容を組み立てておけば良かったと思います。今回のプロジェクトでは実際に消費者と接する機会が多く、イベントへの集客方法などをじかに学ぶことができました。社会に出てからも、この経験を役立てていきたいです」

山本 裕紀・国際学部国際協力学科二年。「先輩たちのしっかりした報告を見て、自分たちにもできるのか少し不安です。でもその反面、主役になる期待感もあります。今日はチームワークの大切さを学びました。来年は自分たちの番。先輩に負けないよう、精一杯頑張りたいと思います」



小川ゼミでは、パワーポイントの使い方も習得できる。

process...

- 1、『オリエンテーション』商品の特性、現在の課題などを理解するため、企業からレクチャーを受ける。
- 2、『実査とこれに基づくプロモーションアイデアの提案』市場調査を行いコアターゲットを明確化。プロモーションの実施方法を検討。
- 3、『プロモーションの実施』インフォメーションツールの作成やプロモーションの準備・運営などを行う。

Open Campus!

オープンキャンパス開催! 2004.7.24-SAT

常磐大学・常磐短期大学を高校生に体験してもらう
第2回オープンキャンパスが開催された。
参加した高校生たちはキャンパスの雰囲気を感じ、
大学生気分を満喫した一日となった。



受付
受付開始の30分前には、すでに多くの高校生が詰めかけている!



模擬授業
人気のある授業では、教室がほぼ満席状態。
今回参加した高校生は勉強好き?



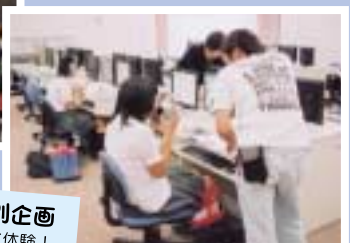
施設見学キャンパスツアー
現役の先輩たちが施設を案内してくれるため
和やかな雰囲気ツアーは展開!



シャトルバス
水戸駅と本学を結ぶ無料シャトルバスが
今回から約20分間隔で運行!



入試説明会
受験するにもこれを知らなければ始まらない。
高校生たちは真剣そのもの。



特別企画
各学部・学科の学びの内容を実際に体験!
パソコンは、やっぱり人気?

また、今回は新企画として「施設見学キャンパスツアー」を実施。現役学生の引率で、キャンパス内のさまざまな施設を見学した。

石岡市内の高校から参加した女子高生は、「博物館学博物館などキャンパス内の充実した施設には驚きました。こんなキャンパスで勉強ができれば嬉しいですね」と笑顔で語っていた。

今回のオープンキャンパスは、実際の授業を肌で感じる「模擬授業」をはじめ、各学部・学科の魅力を感じてくれる企画が多く、参加した高校生は素顔の常磐大学・常磐短期大学を満喫している様子だった。特に今回は模擬授業への関心が高く、満席となる教室が続出。人気のある授業では、立ち見ができる教室もあった。

常磐大学・常磐短期大学を高校生たちに体験してもらう「第2回オープンキャンパス」が、七月二十四日に開催された。これまでは受付開始の九時三十分になると、高校生たちがいつせいに詰めかけていたが、今回は水戸駅から本学までの無料シャトルバスが運行。数回に分けた送迎態勢で、オープンキャンパスに参加した約一三〇〇名の高校生たちは、長時間待つことなく受付を済ませることができた。

JOB Navigation 2005

万全な準備を整えるためにも 早めの就活を心がけてください!

1000
10 5
佐々木 裕介 (ささき ゆうすけ)
人間科学部/組織管理学科
株式会社常陽銀行 内定



具体的に就活を始めたのは三年の十月頃。就職情報サイトに登録して、エントリーを開始しました。エントリーだけを考えれば、その数は大体百社くらいになるんじゃないでしょうか。当時は合同セミナーなどに参加して、幅広くいろいろな業界の話を聞いて勉強しようと考えていたので、業種の絞り込みは意識的にしなかったんです。それで、十一月頃から東京の合同セミナーに参加はじめてました。十二月三日に行った最初の説明会では、会場に入るまでに三時間も待ったんですよ。やっこの思いで入場しても、人気のある企業のブースにはすこい行列が出来ていて、圧倒されましたね。茨城と東京の温度差を目の当たりにして、本気にならなくちゃ大変だと実感しました。

金融業というところで企業の絞り込みもできていました。金融業界は、いま非常に重要な時期を迎えています。競争も激しく、入社してからも自己啓発して上を目指さなければ取り残されてしまう。しかしこうした厳しい環境に自分を置くことで、人間として成長していくんじゃないか...そう考えたんです。

Schedule

- 2001.04 ●入学と同時に就職を意識
- 2003.10 ●サイトに登録、エントリー開始
- 11 ●試験対策開始
- 12 ●東京のセミナーに参加
- 2004.01 ●県内での合同セミナーに参加
- 02 ●県内の金融業に活動を絞り込む
- 04 ●常陽銀行試験開始
- 05 ●内定

常陽銀行の採用試験ですが、全て四月に集中して実施されました。最初に行われたのは筆記試験。手こたえとしてはまあまあだったと思います。次は一次面接です。聞かれた内容は、エントリーシートに沿った事柄でした。就活を通してまだ三、四回目の面接でしたが、特に苦になることはなかったですね。そして四月の下旬に行われたのがグループディスカッション。ここでは、あえて発言を抑えました。常陽銀行が重視するのは協調性。だから、発言した人に協調する姿勢を見せることが重要だと考えたわけです。周りの人が沢山発言するので途中で少し焦りましたね。でも結果的には良かったように、次の個人面接、最終面接と順調に進み、無事内定を頂くことができました。就活は早め始めて損はありません。試験の日程までに時間があれば、それだけ対策も万全にできます。いろんな業界を研究できるので、自分に合った企業を見つけることもできる。就職は人生に関わることなので、積極的にアクションを起こしましょう!

就職活動体験記 1

一度決めたら最後まで諦めずに挑戦してください!

小口 翔一 (こぐち しょういち)
人間科学部/コミュニケーション学科
株式会社帝国ホテル 内定



就職について考え始めたのは三年生の夏です。まず最初のステップとして仕事発見パスターに参加しました。そこでもらった業界マップを見て、業種の絞り込みをしていったんです。自分の希望としてはサービス業か接客業でした。エントリーもそうだった会社を中心にしましたね。なかでも最初にエントリーしたのが帝国ホテル。この頃から第一志望でした。その理由は施設が整っていて、全体的な雰囲気と従業員の態度が素晴らしいから。プライドを持って仕事をしているのだと感じました。

帝国ホテルの入社試験は二種類あるんですが、その内の一つ目、幹部候補生を採用する総合コースの面接を三月に受けました。五次試験まであって、四次まで行ったんですけど駄目でしたね。もう少し努力しておけば良かったと後悔し、その時勉強不足を痛感しました。また東京と茨城では環境もずいぶん違います。都内は情報が早いし、動きが取りやすいんです。入社試験が一つ終わったら、午後からまた違う企業の面接を受けるという人もいて驚きました。それからすこく積極的ですね。

Schedule

- 2003.08 ●就職について考え始める
- 09 ●仕事発見パスターに参加
- 業界マップで絞り込み
- 12 ●帝国ホテルにエントリー
- 2004.02 ●ホテル見学
- 03 ●総合コース入社試験開始
- 04 ●ホテル見学
- 05 ●専門コース入社試験開始
- 06 ●内定

自分の言いたいことをはっきり言っている。グループディスカッションで飲まれてしまい、東京で本当にやっていたのかどうか考え込んでしまいました。そんなこともあり一度は諦めかけたのですが、励ましてくださる方もいました。自分も帝国ホテルで働きたいという気持ちが強かったので、残るもう一つの試験を受けることにしました。専門コースは東京の帝国ホテルだけで採用される。転動のない専属スタッフ。試験開始は五月の中旬でした。僕がさまざまな面接を通して感じたことは、グループ面接の難しさです。それから、忙しいときは気分転換も必要ですね。僕は、都内のホテルやデパートの地下街を回って自分なりに比較していたので、それがリフレッシュになったのではないのでしょうか。

就活は三年生の秋から将来について考え、日頃から意識して自分の意見を言える場を作るのが大切。その頃からエンジンをかけておかないと、後が大変です。そして、入りたい企業があったら諦めずに頑張ることですね!

より良い就職活動のために 周辺の環境を整えましょう!

柴田 亜希子 (しばた あきこ)
国際学部/国際ビジネス学科
ヒューマンリソシア株式会社 内定



私が本格的に就活をはじめたのは、サイトがオープンした十月くらいから。その頃はまだ就職に関して漠然としたイメージしかありませんでした。でも合同説明会に参加して、多くの人が一生懸命に就活しているのを感じ、もっと頑張ろうと思いました。

最初はベンチャー企業ばかり受けていました。東京志向もあつたし、現在伸びている会社で働きたかったんです。だから業種の絞り込みはせずにさまざまな業種を受け、自分に向いている仕事を考えました。そして、都内の会社から内定をいただけたんです。でもその内定に安心しただけか、茨城と東京

Schedule

- 2003.08 ●就職を意識し試験対策開始
- 10 ●サイトに登録、エントリー開始
- 東京の合同説明会に参加
- 2004.04 ●都内で1社内定、就活休止
- 05 ●ヒューマンリソシア試験開始
- 06 ●内定

の往復に疲れを感じてしまい、四月中はほとんど就活を休んでしまいました。だけど、内定をもらった企業が本当に自分に合っているのか、疑問を感じるようになったんです。そこで、自己分析からやり直すことにしました。すると、アルバイトでは接客に魅力を感じ、友人たちの間では相談役に徹している自分が見えてきたんです。つまり、私が好きなのは人。人材に関するコンサルティングが、自分に向いているんじゃないかって。そこで、ヒューマンリソシアを受けることにしました。

採用試験が始まったのは五月の後半。ヒューマンリソシアでは、能力検査より適性と面接が重視されていたようです。最終面接は、社長と一対一の個人面接。そして、その日のうちに内定をいただくことができました。

JOB Navigation 2005

考えているよりは動く
足を使った就活をお勧めします。

上林 明日香 (かんばやしあすか)
「ミニミニ」振興学部 / 「ミニミニ」文化学科
株式会社カワチ薬品 内定



昨年の八月頃に、内定をもらった先輩と食事しながら就職についての話を聞きました。それが、私の就職活動の始まりですね。だいたい十一月の下旬からエントリーを始めましたが、まだ企業の絞り込みができていなくて、自分がなにをやりたいのかわからなくなりました。これはやっぱり自己分析だ！って、周りの人に「私ってどういった人間だと思っ？」と、聞いて回りました。すると、私はどうやら小物が好きらしいということが分かってきました。確かに冷静に考えてみると、なんとなくエントリーしている企業も小売・流通関係が多かったんです。それで合同説明会が始まる二月頃には小売・流通業界に絞り込んだ就職活動ができるようになりました。

最初の採用試験は二月の下旬、本命だったカワチ薬品の試験が東京で行われることになりました。でもインターネットで調べてみると、二カ月後には水戸でも試験があることが分かったんです。どちらを受けようか迷って、先輩に相談すると「絶対、早いうちに行った方がいい」ということで、ちょっと早いと思いがちながらも一回目の試験

Schedule

- 2003.01 ●先輩を見て就職を意識
- 10 ●試験対策開始
- 11 ●サイトに登録、エントリー開始
- 2004.01 ●日経就職フォーラムに参加
- 02 ●自己分析完了、企業の絞り込みへ
- カワチ薬品試験開始
- 04 ●内定

情報は自分から仕入れる！
福祉関係は積極性が重要です。

大塚 邦子 (おつかくにこ)
「ミニミニ」振興学部 / ヒューマンサービス学科
社会福祉法人北養会 特別養護老人ホームもみじ館 内定



私は、大学に入学する前から福祉関係の職業に就きたいと思っていました。「福祉」とひとくちに言ってもさまざまなものがあります。その中でも私が興味を持っていたのは高齢者福祉。幼稚園の頃から高齢者福祉施設を訪問したりしていたので、とても身近に感じていたんです。そのせいもあり、三年次の秋に行われた福祉実習に、高齢者福祉施設を選びました。そして実習を通して仕事の内容を詳しく知ることになりました。でもそのときはまだ九月、福祉関係の求人が出るのが遅いので、どうやって就職活動すればいいのかわからなかったんです。

だからといって、何も活動をしていないと不安になります。そこで、二月に大学で開催された企業の合同説明会に参加しました。福祉関係の企業は来ていませんでしたが、何事も経験ですよ。参加してみると、一般の企業を受ける学生は真剣そのもの。就職活動の雰囲気をつかめただけでも、参加して良かったと思っています。私が本格的に就活を始めたのは六月頃、茨城県総合福祉会館にある、福祉

Schedule

- 2001.04 ●入学前より福祉に興味を抱く
- 2003.08 ●社会福祉現場実習
- 12 ●企業説明会参加
- 2004.06 ●福祉会館の人材センターに登録
- 07 ●合同説明会
- もみじ館入社試験
- 内定

周りの雰囲気にならなれず
自分の意志で就活をスタート！

大久保 純子 (おおくほじゅんこ)
短期大学 / キャリア教育学科
株式会社常陽銀行 内定



実際に就活がスタートを切ったのは十月に大学で行われた就職ガイダンス。行ってみると、参加している短大生はほんの少数で、動いているのは短大生ばかりでした。短大生は動きが遅いと言われますが、本当はなんでも実感しました。でも、ガイダンスには役立つ情報がたくさんあります。私が就職情報サイトの存在を知ったのもそのとき。すぐに登録を済ませてエントリーを開始しました。

一月の下旬からは県内でも合同説明会が始まり、水戸や土浦などの説明会に参加しました。いろんなお話を聞いて、この頃から金融関係の仕事の重要性や面白さが分かってきたように思います。でも就活で履歴書を書くのは初めてで、何を書いたらいいのかさっぱり分かりません。そこで、とりあえず自分でできる範囲で書き上げ、就職課に相談することにしました。すると、現場見学をしてみたら？って、確かに銀行業務自体のイメージをすっかり持つことは大切ですね。そこで、受験するすべての銀行を見学。これはとても役に立ちました。最初は座って業務を見ているだけだったんですけど、手が

Schedule

- 2003.08 ●就職を意識
- 10 ●就職ガイダンスに参加
- 2004.01 ●県内の合同説明会に参加
- 04 ●金融関係の試験が開始
- 05 ●常陽銀行試験開始
- 06 ●内定

あいた行員の方には質問もできました。パンフレットでは分からない忙しさや雰囲気も感じることができて、履歴書やエントリーシート、そして面接にも広がりを出すことができました。常陽銀行の試験が始まったのは五月の半ば。最後に受験した企業なので、そろそろ面接にも慣れてきて、少し余裕を持って受けることができました。そして次に行われたのが、適性検査とグループの読み取りなどの筆記試験。全然できなくて、もうダメだ！って。だから最終面接に進めるときはヒックリしました。最終面接では就きたい業務なども含めた意志確認も行われ、六月に内定をいただくことができました。試験対策を立てるときは、先輩の「受験報告書」を参考にしてください。面接だけではなく、筆記試験の情報も詳しく書いてあるので役に立ちますよ。就職活動の反省点は、筆記試験対策が遅すぎたこと。やっぱり何事も早めの準備を心掛け、就職課や先輩の報告書も十分に活用しましょう。周りに流されず、自分の意志でスタートです！

Circle Flash!

その名称は「TFCC」(常磐大学フリースクライマーズクラブ)。国際学部四年の小川由樹代表は今年行われた国体の山岳競技茨城県大会で総合優勝を飾る実力の持ち主。また一年の藤枝国博選手は国体の茨城代表に選



あなたは「ロッククライミング」を御存じだろうか。発祥の地はヨーロッパ。日本でも八十年代後半から普及し始めている。当初は自然の岩場を舞台に開催されていたが、現在は人工壁での開催が一般的で、そこには手足を掛けるホールドと呼ばれる石が取り付けられ、選手はそれを頼りに上まで登っていく。最後まで登りきることを「完登」と呼び、完登出来るルートは一つしかないように設定されているのだ。そのスポーツに熱心に取り組んでいる愛好会が、常磐大学にある。



創設約半年で
国際的に活躍する
クライマーたち



第17回
TFCC
常磐大学
(フリースクライマーズクラブ)

■左から人間科学部一年・森清隆さん、国際学部四年・小川由樹さん、人間科学部一年・本橋信男さん。

今までの実績によって、大学の準体育会に入れることが決まった。今後は練習施設の充実と部への昇格を目指して、より大学に認めてもらえるよう努力していくとのこと。更なる飛躍が期待される、TFCCのメンバーに声を掛けてみよう!

「まだ立ち上げたばかりですが、もし興味があったら、是非気軽に立ち寄ってみてください。一度挑戦してみると、面白さが分かりますよ。女子の入りも大歓迎です」

「まだ立ち上げたばかりですが、もし興味があったら、是非気軽に立ち寄ってみてください。一度挑戦してみると、面白さが分かりますよ。女子の入りも大歓迎です」



↑クライミングに必要なのは体力だけではない。いかに攻略するか、その分析力が大切なのだ。

きらりひと
KIRARIBITO

短期大学
キャリア教養学科・2年
中村 有紀
★ミス・グリーンふるさと



人間科学部
コミュニケーション学科・4年
庄子 早月
★東海ゆめ大使



人間科学部
コミュニケーション学科・4年
佐々木 美季
★あやめ娘



ミス・グリーンふるさと、東海ゆめ大使、あやめ娘。一見、華やかに見える彼女たちの仕事だが地域の代表としてPR活動を行うという重要な役割を担っている。社会を一定早く経験し、人間的にも成長した彼女たちを紹介しよう。

仕事の魅力は、人との出会いです!!

現在の仕事はイベントやラジオでのPR活動がメイン。でも、パンフレットの配布などで、直接お客様とふれあ

茨城県北西部の十八市町村で構成され、私が住んでいる常陸太田市も圏内に含まれています。この地域は自然が豊かで、とても美しいところ。私を育ててくれた、そんな自然の素晴らしさを自分の言葉でPRしたいと思っただけです。

「仕事は、何と言っても人との出会い。さまざまな人との年代を問わずコミュニケーションが、自分を成長させてくれることを実感しています。」

少し早い社会人を経験しています!!

「自分が「東海ゆめ大使」に選ばれる前は、ただニコニコ笑ってればいい仕事だと思っていました。ところが、現実とは違いましたね。PR用の乾燥芋を袋詰めしたり、商品の陳列を手伝ったり、結構裏方の仕事が多いんです。イベントなどでは商品の販売もするんですよ。」「いまからタイムセールス三〇〇円!」とか(笑)。でも、私はそういうところが自分に合っていると思っています。もともと庶民的なんです(笑)。

この仕事を始めてから、地域に対する見方が変わりました。いままでは東海村のことなんてほとんど知らなかったんですが、勉強していくと全国に自慢できるところがたくさんある。やはり、地元で自信が持てるというのはいいことですよ。それから、周りの方々が皆しっかりと考えを持っているので、人間的にも成長したと思います。大勢の人の前でも、しっかりと自分の意見が言えるようになりました。皆より少しだけ早く、社会人としての一歩を踏み出したような気がします。

歴史は知ると楽しいですよ!!

「「あやめ娘」に応募した後に、何か思い出をつくりたかったから。たまたま新聞で募集広告を見つけて、浴衣姿が可愛いなってピンときたんです。潮来市では毎年六月いっぱい「水郷潮来あやめまつり」が開催されますが、これは歴史のある行事で、はるばる海外から観光にやってくる方もいらつしやいます。期間中、あやめ娘はお客様の案内をしたり、白無垢を着て嫁入り舟に乗ったり、マスコミ各社にP

「この、あやめ娘の活動を通して、茨城の歴史や文化を再認識することができました。また、人とのふれあいが社会を実感することができたと思います。これからも、この経験を活かして、社会人として頑張っていきたいですね。」



残りの半年間も笑顔で。(写真中央)



東海村特産の乾燥イモをPR。(写真左)



祭り期間中は浴衣着用。(写真右)

心理学を社会で生かす職業といえば、多くの人がカウンセラーをイメージするかも知れない。しかし、現代の心理学には知覚・学習・認知・言語・人格などさまざまな分野が存在する。臨床よりもっと身近な、心理学を生かすことのできる仕事とはなにか？

人間科学部 伊田政司 教授に聞く 計量心理学とは

人間の感性を解き明かし 実社会に応用する

社会の中に 幅広く生かせる心理学

心理学を生かした仕事というと、カウンセリングを思い浮かべる人が多いのではないだろうか。しかし、心理学は人間とは何かを追求する学問。臨床の分野だけでなく、人の心を探るさまざまな分野がある。その中で『計量心理学』をバックグラウンドとして、さまざまな分野に応用しているのが伊田先生だ。



授業風景

測定できるのだろうか、という疑問から生まれ、それらの中に心理学的法則性を見いだそうとしているものです。知能や行動・性格特徴を測定する心理検査法はその応用分野の一つと言ってよいでしょう。ただ、計量心理学は理論的で、学生諸君には難しい面もあります。そこで、講義では応用研究を例にして説明するようにしています。例えば、人はなぜそのような選択をするのだろうか。また、人はどのような条件で「心地よさ」を感じるのだろうか。そういった身近な行動を対象にした研究を紹介するようにしています。

感性を測定し 商品開発の分野に貢献

心理的な現象を測定しようとする試みは計量心理学の手法である『心理測定法』や『心理尺度構成法』として体系化されている。

現在、私たちを取り巻く社会には感性や好み、さらに価値観に関わる問題が数多く存在しています。このような主観的な要素が関わる問題を解決する場合には、主観的な印象をできる限り客観的に、できれば数値的に示すことが必要とされています。

例えば、現在非常に多くの種類が発売されている缶酎ハイのイメージを分

いた まさし
人間科学部 人間科学研究科 教授
慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。専門は計量心理学・応用実験心理学。日本心理学会会員。人間科学部助教授を経て平成十一年四月より現職。



析する場合、印象分析の手法によって『アルコール分の高 低』『焼酎本来の味わい フルーツティーな味わい』という心理的な基準による二つの座標軸を設け、商品を心理的な基準によってポジションニングすることができると、飲んだことのない商品でも、ある程度、その味わいをイメージすることができるといってつづられた表は『イメージマップ』と呼ばれ、新商品の開発やマーケティングの現場で活用されている。

「こういった測定法を身に付けておく」と、さまざまな仕事に応用することができます。最近では、産業界でも商品開発の中にこのような心理学的手法を取り入れていくという動きが活発になってきているようですね。

例えば、目にやさしい照明、香水や芳香剤の心地よい香り、高級感のある自動車のドアの開閉音、すわりごちのよいシートなど、メーカーの研究所では心理学的実験が繰り返されている。つまり心理学は、さまざまな産業で応用することが可能なのだ。

「人の感性や行動は一般的には偶然的でまぐれなものであると考えられているかもしれませんが、きちんと測定することにより、その特徴を明らかにすることができるのです」
実社会で生かす技術を習得するには、心理統計学のようなデータ分析のセンスも求められる。心理学は「文系」の学問だと思っ入学し、授業を受けて驚く学生も多いそうだ。

心理学的立場から 社会的な公正を考える

さらにこの学問は、社会的にも重要な役割を担おうとしている。それは法務省が二〇〇九年までの導入を決定した『裁判員制度』。この制度は、国民から無作為に選ばれた裁判員が、殺人、傷害致死などの重大事件の刑事裁判で裁判官と一緒に裁判をする制度。正義や公正は人間的・社会的な価値判断であるから、そこには人間の判断や意志決定の特徴があらわれることになる。

例えば、陪審員制度が確立されているアメリカなどの研究によると、損害賠償額などに被告の「見かけ」が影響する場面があるという結果が得られています。裁判においては心理学的判断の特徴が判決に影響して、公正を欠く判決がくだされる可能性もあります。だから、素人が誤りがちな判断や、逆に法曹の専門家が軽視しがちな要素を心理学的立場から提言することも必要です。

最近、このような問題を研究する『法と心理学』が発足し、すでに研究が進められていくという。

「心理学は決して易しい学問ではありませんが、現代心理学を通じて、人間についての知識や条件を深く学び、社会のさまざまな分野に進出して、『現場』と人をつなぐ『専門アドバイザー』としてそれらが生かされることを希望しています」

心理学は本当に、奥が深い学問だ。

高校生「英語」サマーセミナー
● 本の施設を利用して、高校生に実用的で楽しい英語を学んでもらおうと、『高校生「英語」サマーセミナー』が八月二日から六日まで行われた。このセミナーは、本学と茨城県教育委員会との「高大連携事業」として行われ、今回が初開催。県内や栃木県から約四十人の生徒が参加した。

セミナーでは、実践的な英語力を養う授業と並行して、語学教育用コンピュータを利用して、モニターに映し出された教材の映像を見ながら、マウスでのクリックやキーボード入力も行う。また、マイク付きヘッドホンを装着して自分の発音をチェックするなど、高校の授業とは違う雰囲気、生徒たちは



県内外から多くの高校生が参加した。

ABC 高校と大学が連携して、地域の国際化を図る! ABC



参加した生徒全員の英語力が高まるよう、演習では一人ひとりにアドバイスが行われた。



パソコンとマイク付きヘッドホンを使った授業に、生徒たちは興味津々。高校とは違った雰囲気を感じていた。

は興味深げに取り組んでいた。セミナーに参加した石岡二高二年の屋代侑紀さんは「英会話能力を向上させようと思って、セミナーに参加しました。ネイティブの先生とのお喋りや、パソコンを使った授業はとても楽しいです」と感想を語り、水戸二高二年の根本千明さんは「ネイティブの先生の発音はとても参考になるし、ビデオを使った演習もとても分かりやすいです。最初は文法を学びたいと思って参加しましたが、発音も向上させたいですね」と、意欲を覗かせていた。

編集後記
一〇八年ぶりに発行の地で開催されたアテナオリンピックが、成功のうちに幕を降ろした。日本選手団の活躍も目覚ましく、獲得したメダル数は日本史上最多。惜しくもメダルに手がとどかなかった選手たちにも、心から拍手を送りたい。巷でよく「最近の若い者は…」という言葉を聞くが、日本の将来に明

る光が感じられた。特に「最近の若者」の凄いとこは、世界の大舞台で自己ベストを更新すること。物怖するところが、実力を遺憾なく発揮している。これは、早くから世界を意識してトレーニングを積んでいるからだろう。本学にもこの秋、アメリカからの交換留学生が六人やってきた。彼らとキヤンパスライフを共にすることで、世界は身近な存在になる。学生たちの意識の変革が楽しみだ。